

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援ママズルーム		
○保護者評価実施期間	R6年8月28日		～ R6年9月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	R6年8月31日		～ R6年9月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○訪問先施設評価実施期間	R6年8月31日		～ R6年9月9日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	7ヶ所	(回答数) 7ヶ所
○事業者向け自己評価表作成日	R6年9月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	心理担当職員が自閉症当事者であることから、子ども達の視野の狭さや特性、またその対策について、よりの確にお伝えする事ができます。	心理担当職員が、自身の体験を元に、心理学で学んだ事を活かし、特性により生じてくる困りごとを、合理的配慮により解決する手段をお伝えしています。視覚支援を行う為に、リマインダーの持参、コミック会話を行う際の筆記用具は常に持ち歩いています。	
2	理学療法士も所属しており、利用される児童に、姿勢保持や感覚刺激など必要な際は、派遣する事ができます。	訪問先の先生方の邪魔や負担にならないよう、配慮しながら支援に臨んでいます。必要に応じて、姿勢保持や感覚刺激の為に、姿勢補助具や感覚グッズが合うかどうか事業所の物を持ち込んで試した事は数回あります。	
3	学校での困りごとの中で、療育で補える部分があれば、併設の児発・放デイにて療育を行い、連携を図る事ができます。		

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントプログラムや、ホームページ等についての周知が出来ていませんでした。	事業所が行っている事を、もっと大々的に利用者様にお伝えしていきます。	
2			
3			